

2023年1月30日

課題名：10mm以下の表在性非乳頭部十二指腸腫瘍(SNADET)に対する内視鏡治療法の選択に関する検討

◆研究の目的と概要◆

10mm以下の十二指腸腫瘍の当院での治療成績を調べることで、適切な治療法を明らかにできる可能性があり、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2013年4月から2022年9月までに当院で10mm以下の十二指腸腫瘍に対して内視鏡的粘膜切除術を施行された方。

◆研究に使用される情報◆

性別、年齢、治療施行日、併存疾患、抗血栓薬内服歴、内視鏡所見、病理組織所見、内視鏡治療に関連する有害事象（後出血、穿孔）発生

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用し、通常の内視鏡的粘膜切除術と浸水下での内視鏡的粘膜切除術の治療成績を比較します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

消化器内科 研究責任者 宮岡 大輔

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明